

取扱説明書 / 施工要領書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
ご使用前にこの施工要領書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後もすぐ取出せる場所に大切に保管してください。

【施工業者様へ】

施工後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

【お客様へ】

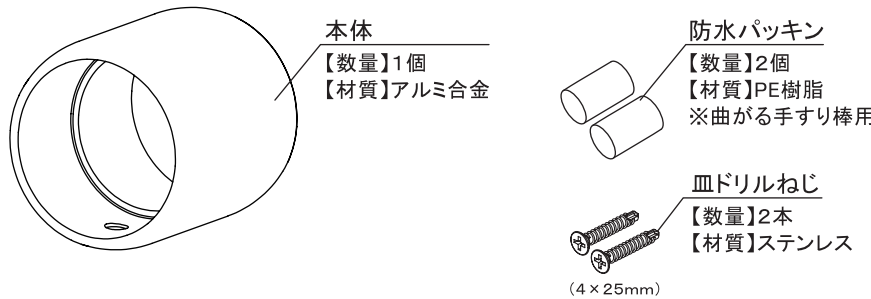
この施工要領書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの施工要領書をお渡しください。

マークの種類について

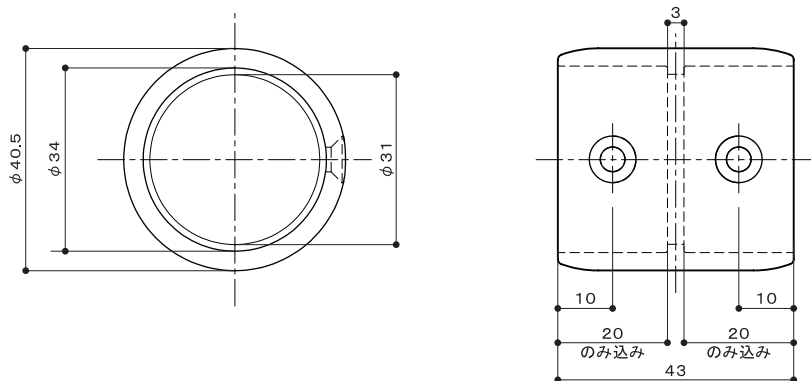
- ⚠ 注意 軽傷または物的損害が発生する可能性がある内容
- 🚫 禁止行為
- ❗ 必ず行う

Re 本製品のアルミダイキャスト部分には再生アルミ合金を使用し、
地球環境への配慮を行っております。

部品明細



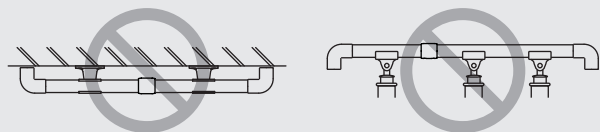
製品図面



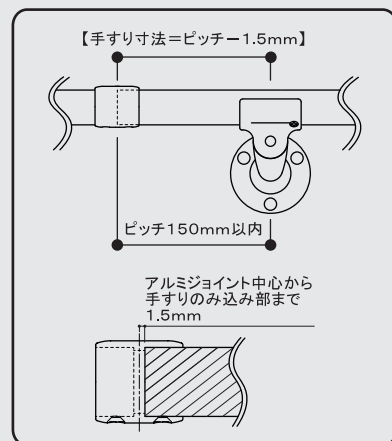
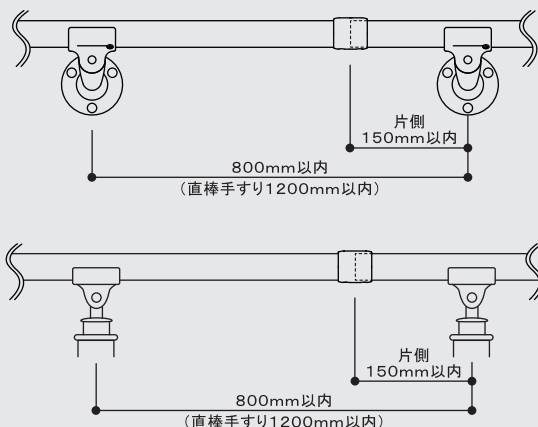
(単位:mm)

安全上のご注意

- ❗ アルミジョイントの両側には支柱・ブラケット等の支持部材を必ず2個ずつ以上取付ける。
製品が破損し、思わぬケガの原因になる。

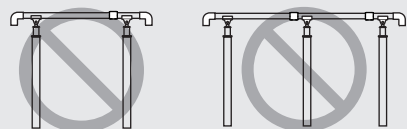


- ❗ アルミジョイントは直近のブラケット(支柱)から片側150mm以内に取り付ける。
製品が破損し、思わぬケガの原因になる。



⚠ 注意

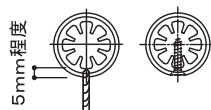
- ❌ アルミジョイント部分直近の支持部材にコーナー支柱・コーナーブラケット・フレキシブルブラケットを用いない。
- ❌ アルミジョイントは最小限の数で取付ける。
アルミジョイントは、手すり棒の定尺寸法(2m材、3m材)及び直棒手すりの定尺寸法(2m材、4m材)を考慮し、最小限の数量とする。
また、手すり全長が定尺寸法内の場合はジョイントをしない。



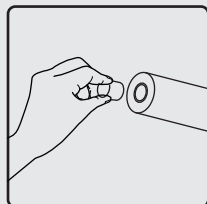
- ❗ 曲がる手すり棒を使用する場合は必ず防水パッキンと錆び止めローバル(別売)を使用する。
腐食や変色の原因になる。

- ❗ 直棒手すりを使用する場合は手すり芯材のリブとの緩衝を防ぐ為、下穴の切削は深さ5mm程度で止め、手すり棒固定用のねじを打つと施工がしやすい。

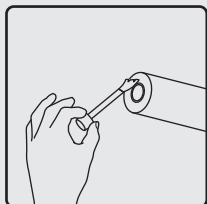
- ❗ 曲がる手すり棒を使用する場合のアルミジョイントの下穴は手すり芯材を貫通するようにあける。



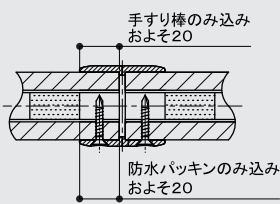
施工手順 取付方法



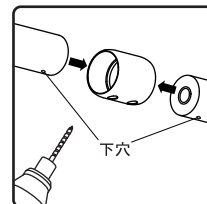
- ① 防水パッキンを、手すり棒の芯材に挿入する。



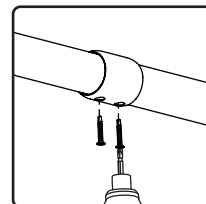
- ② 小口部分に錆び止めローバル(別売)を塗布する。



直棒手すりでは
防水パッキンと錆び止めローバルは不要



- ③ $\phi 3.3\text{mm}$ の下穴をあける。



- ④ 皿ドリルねじ(4×25mm)で固定する。